



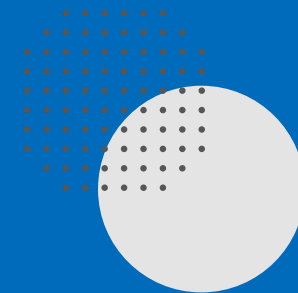
時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける

System Integrator

株式会社システムインテグレータ（証券コード3826）

2024年 4月 15日

2024年 2月期 決算補足資料



2024年2月期決算（損益計算書）

単位：百万円

	2023年2月期	2024年2月期	YoY	業績予想	達成率
売上高	4,486	4,835	+7.8%	4,892	98.8%
売上総利益	1,576	1,628	+3.3%	-	-
vs売上高	35.1%	33.7%	-	-	-
営業利益	406	328	-19.3%	371	88.5%
vs売上高	9.1%	6.8%	-	7.6%	-
経常利益	416	336	-19.3%	392	85.7%
vs売上高	9.3%	6.9%	-	8.0%	-
純利益	280	944	+237.2%	918	102.9%
vs売上高	6.2%	19.5%	-	18.8%	-

- ・前事業年度から引き続いて受注確度の高い案件および受注残の確保に注力したことや、インボイス対応に関わる高採算の開発プロジェクトを多数獲得したことによるERP事業の好調を受けて、売上高および売上総利益が増加
- ・人員増に伴う人件費増加や新規事業開発に積極的な投資を行ったことによる研究開発費増加の影響で、営業利益および経常利益が減少
- ・一方で、E-Commerce事業の合併に伴う関係会社株式の売却およびTOBに伴う政策保有株式の売却による各利益を特別利益に計上したことにより、純利益は大きく増加

2024年2月期4Q決算（損益計算書）

単位：百万円

	2023年2月期4Q	2024年2月期3Q	2024年2月期4Q	YoY	QoQ
売上高	1,295	1,250	1,160	-10.4%	-7.2%
売上総利益	479	413	358	-25.2%	-13.2%
<i>vs売上高</i>	<i>37.0%</i>	<i>33.0%</i>	<i>30.9%</i>	-	-
営業利益	224	77	47	-78.7%	-38.1%
<i>vs売上高</i>	<i>17.3%</i>	<i>6.2%</i>	<i>4.1%</i>	-	-
経常利益	230	83	48	-78.9%	-42.0%
<i>vs売上高</i>	<i>17.8%</i>	<i>6.7%</i>	<i>4.2%</i>	-	-
純利益	156	60	677	+331.6%	+1016.4%
<i>vs売上高</i>	<i>12.1%</i>	<i>4.9%</i>	<i>58.4%</i>	-	-

- ・ E-Commerce事業の合弁化による取り込み額減少の影響が大きく、第4四半期の売上高および売上総利益がYoY、QoQともに減少
- ・ 前述の売上総利益減少に伴い、営業利益および経常利益がYoY、QoQともに減少
- ・ E-Commerce事業の合弁化に伴う関係会社株式の売却およびTOBに伴う政策保有株式の売却による各利益を特別利益に計上したことによりYoY、QoQともに純利益が大きく増加

2024年2月期決算（貸借対照表）

単位：百万円

	2024年2月期3Q	2024年2月期4Q	QoQ
流動資産合計	3,410	4,171	+761
現金及び預金	2,340	2,990	+650
売上債権	355	464	+108
契約資産	521	522	0
その他	192	194	+1
固定資産合計	634	580	△53
ソフトウェア	288	176	△111
その他	346	404	+57
資産合計	4,044	4,752	+707
負債合計	1,057	1,087	+30
仕入債務	171	146	△24
契約負債	374	304	△70
その他	510	636	+125
純資産合計	2,987	3,665	+677
資本金	367	367	0
資本剰余金	357	357	0
利益剰余金	2,352	3,030	+677
自己株式その他	△90	△90	0
負債純資産合計	4,044	4,752	+707

【流動資産】

- ・現金及び預金は650百万円増加
- ・売上債権は108百万円増加

【負債】

- ・仕入債務は24百万円減少
- ・契約負債は70百万円減少

【純資産】

- ・四半期純利益の計上により677百万円増加

セグメント別業績（ソリューション事業）

単位：百万円

		2023年2月期		2024年2月期		前年比
E-Commerce	売上高/昨年対比	916	-24.2%	713	-22.1%	△202
	事業利益/事業利益率	321	35.0%	172	24.2%	△149
ERP	売上高/昨年対比	2,755	-3.9%	3,295	+19.6%	+539
	事業利益/事業利益率	499	18.1%	652	19.8%	+153
AI	売上高/昨年対比	67	-	37	-44.8%	△30
	事業利益/事業利益率	△13	-	△42	-	△29

- 【EC】 前事業年度から事業化した「Adobe Commerce」の開発プロジェクトが複数進捗しましたが、新規受注獲得に向けた、アフターコロナを含めた昨今の市場環境変化や顧客要望多様化への対応が遅れました。また2023年11月9日に公表した事業合併化による取り込み額減少の影響も大きく、減収減益となりました。
- 【ERP】 2023年10月施行のインボイス制度に関する「GRANDIT」既存ユーザー様向けの開発プロジェクトが進行し、2024年1月から義務化される改正電子帳簿保存法を想定した「電帳法対応ソリューション」の販売も増加しました。以上の結果、増収増益となりました。
- 【AI】 新規案件を順調に積み上げることが出来ましたが、お客様による導入検討が延伸していることから、減収及び損失となりました。

セグメント別業績（クラウド・SaaS事業）

単位：百万円

		2023年2月期		2024年2月期		前年比
Object Browser	売上高/昨年対比	695	+2.6%	739	+6.3%	+44
	事業利益/事業利益率	286	41.2%	332	44.9%	+46
インキュベーション その他	売上高/昨年対比	51	+15.1%	50	-1.9%	△1
	事業利益/事業利益率	△75	-	△57	-	+17

【OB】 データベース開発・設計支援ツールが、AIによるSQL自動生成など開発生産性を高める機能強化により安定的な売上を実現しました。またプロジェクト管理ツールが、コロナにより停止していた各種マーケティング施策の再開による引き合い増からMRR^(注)が前事業年度と比較して約5百万円伸長した結果、増収増益となりました。

(注) MRR=Monthly Recurring Revenueは、OBPMの月次契約金額。

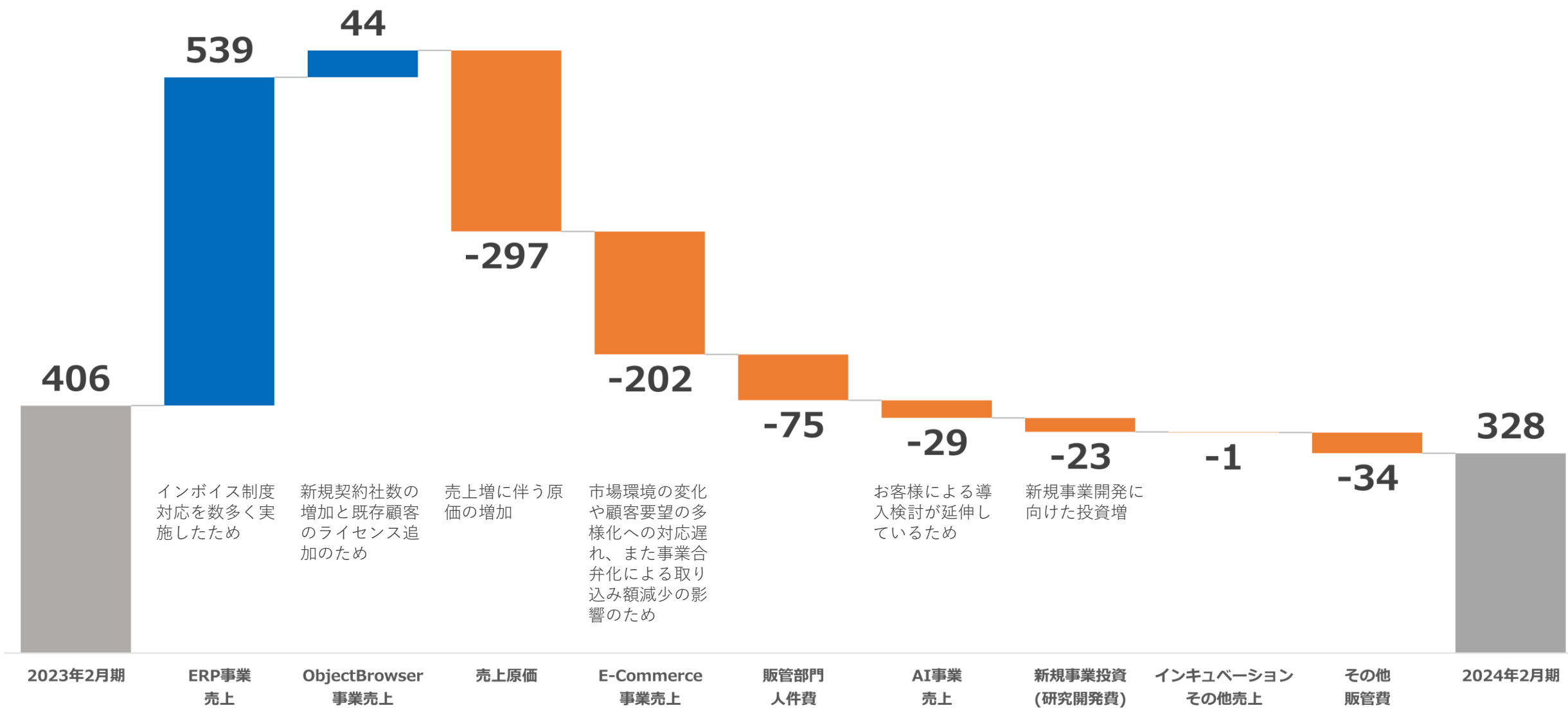
【インキュベーションその他】

「TOPSIC」「IDEA GARDEN」は、引き続き新規顧客獲得とともに継続利用を促すカスタマーサクセス活動に注力した結果、減収および損失改善となりました。

「IDEA GARDEN」は、収益化の目途・市場性・事業拡大の難易度など、様々な指標をもとに検討した結果、2025年2月末日付で事業撤退することを決定しました。なお、業績に与える影響は軽微となります。

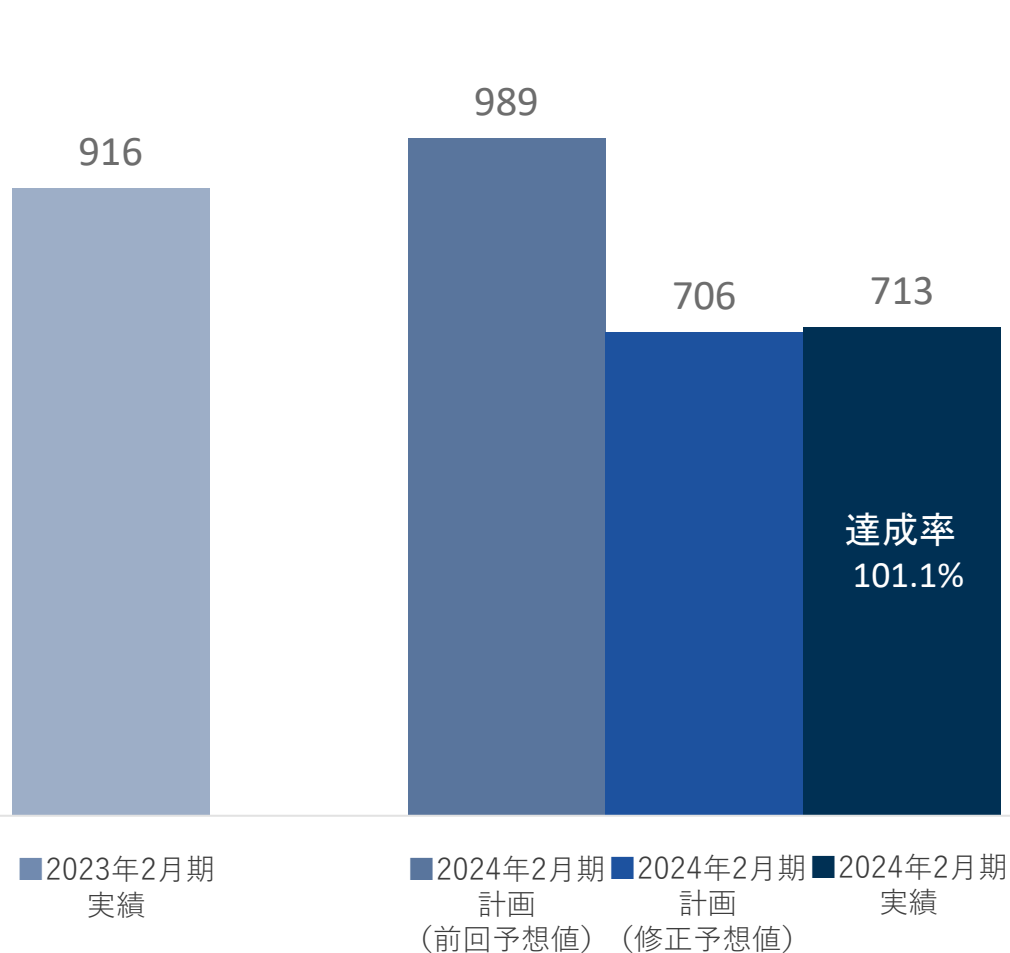
営業利益増減図

単位：百万円



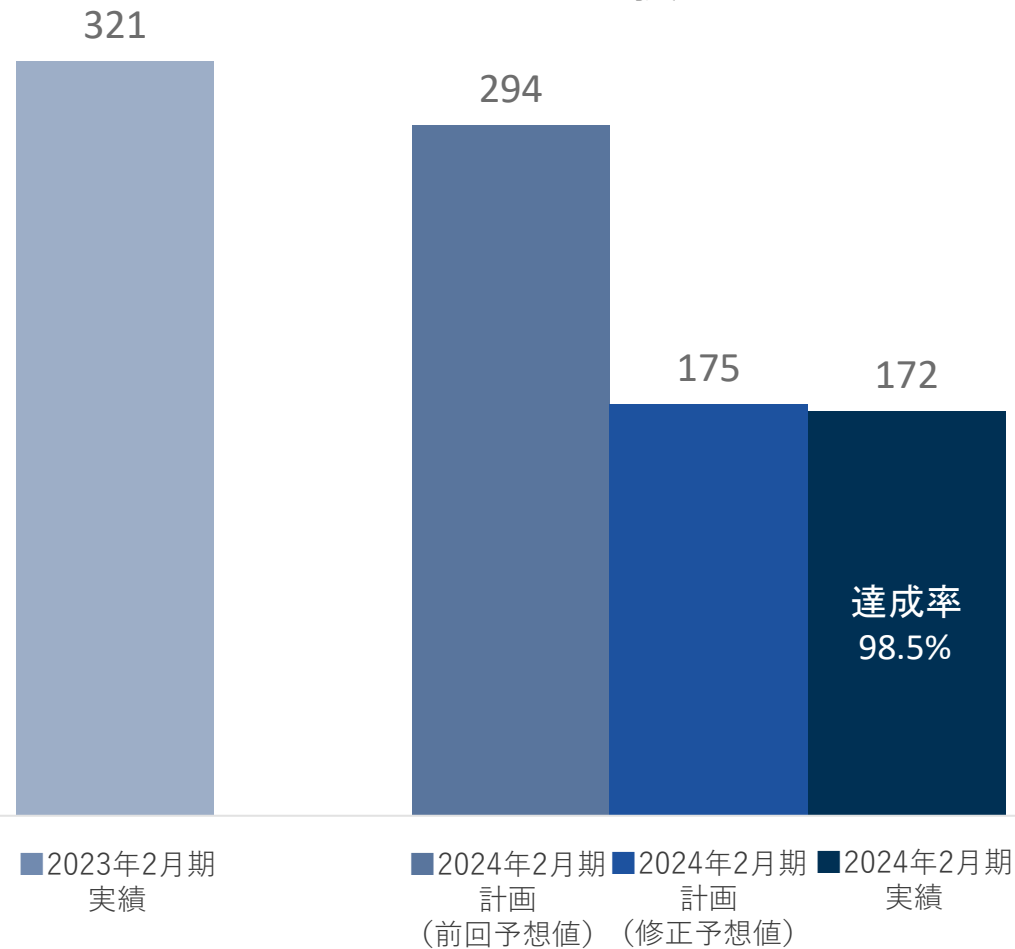
2024年2月期セグメント別業績：E-Commerce事業

売上高



セグメント損益

単位：百万円



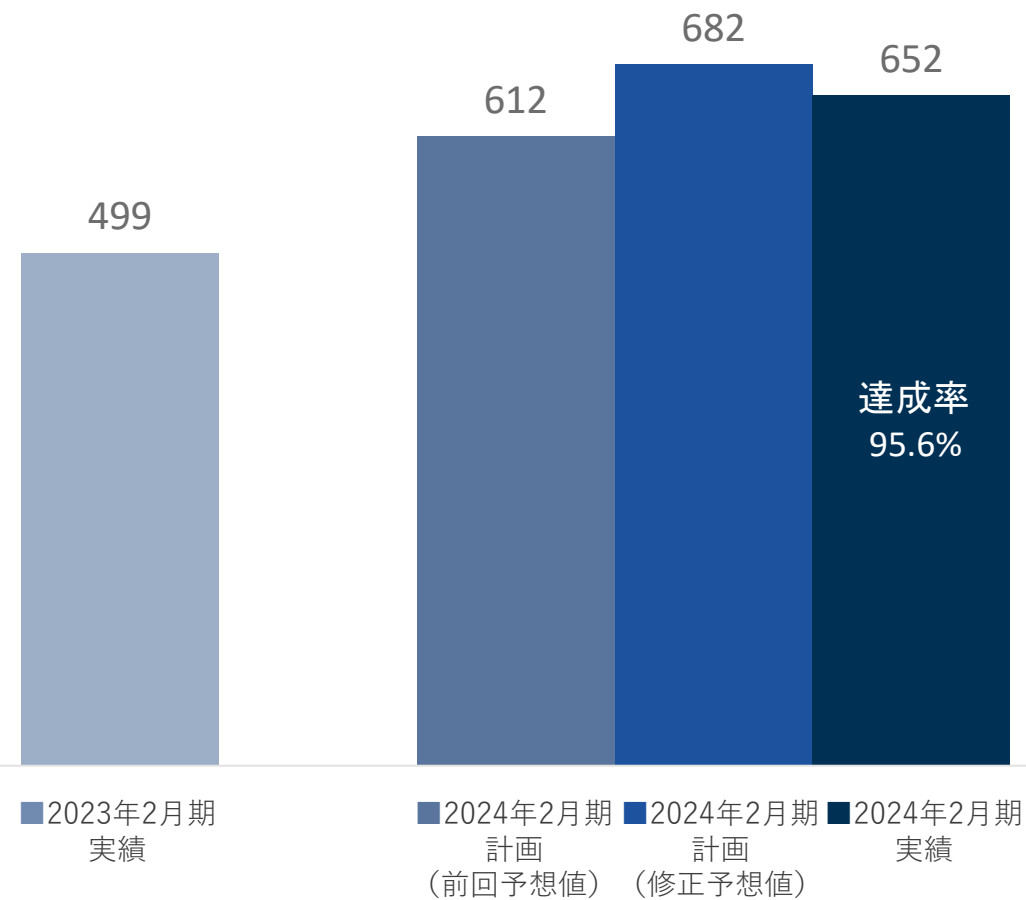
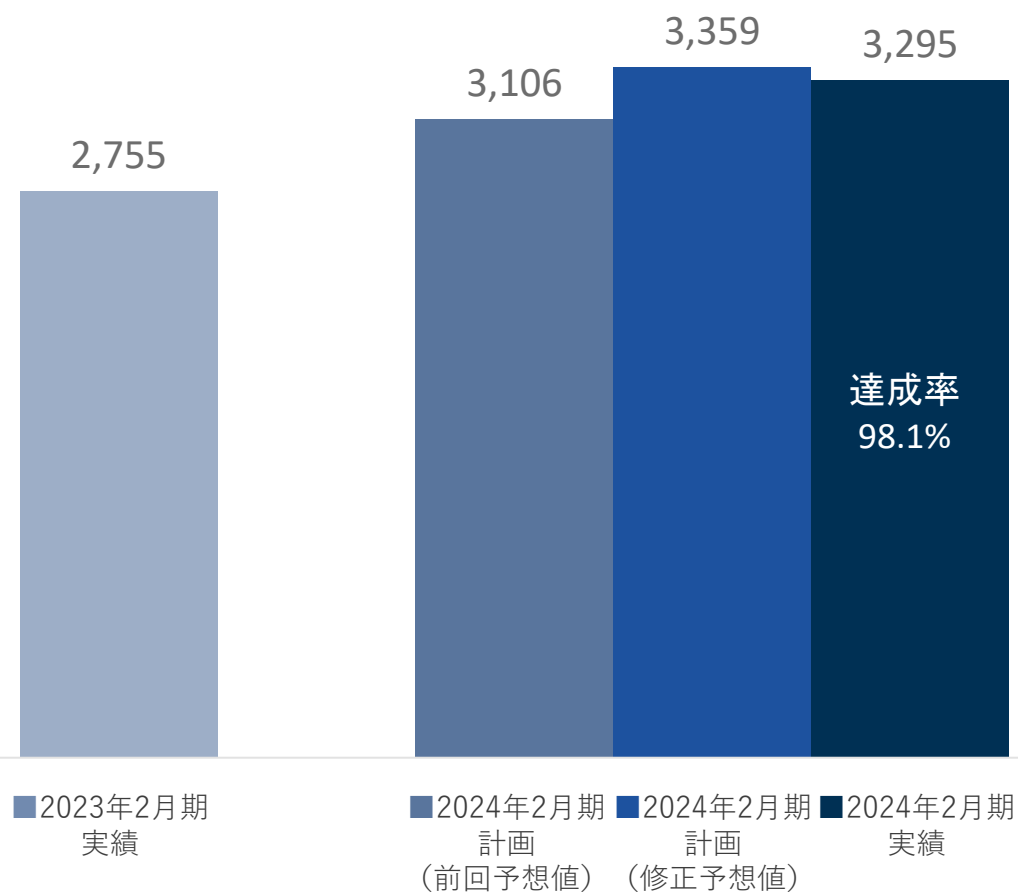
※2023年11月9日に公表した「E-Commerce事業の譲渡に伴う会社分割（簡易新設分割）および新設会社株式の譲渡に関するお知らせ」のとおり、「E-Commerce事業」を新設会社へ分割し、新設会社が発行する株式のうち60.0%を株式会社DGフィナンシャルテクノロジーに譲渡いたしました。これにより業績予想の修正を行いましたので、詳細は2024年1月15日に公表した「特別利益の計上および業績予想の修正ならびに配当予想の修正（特別配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

2024年2月期セグメント別業績：ERP事業

売上高

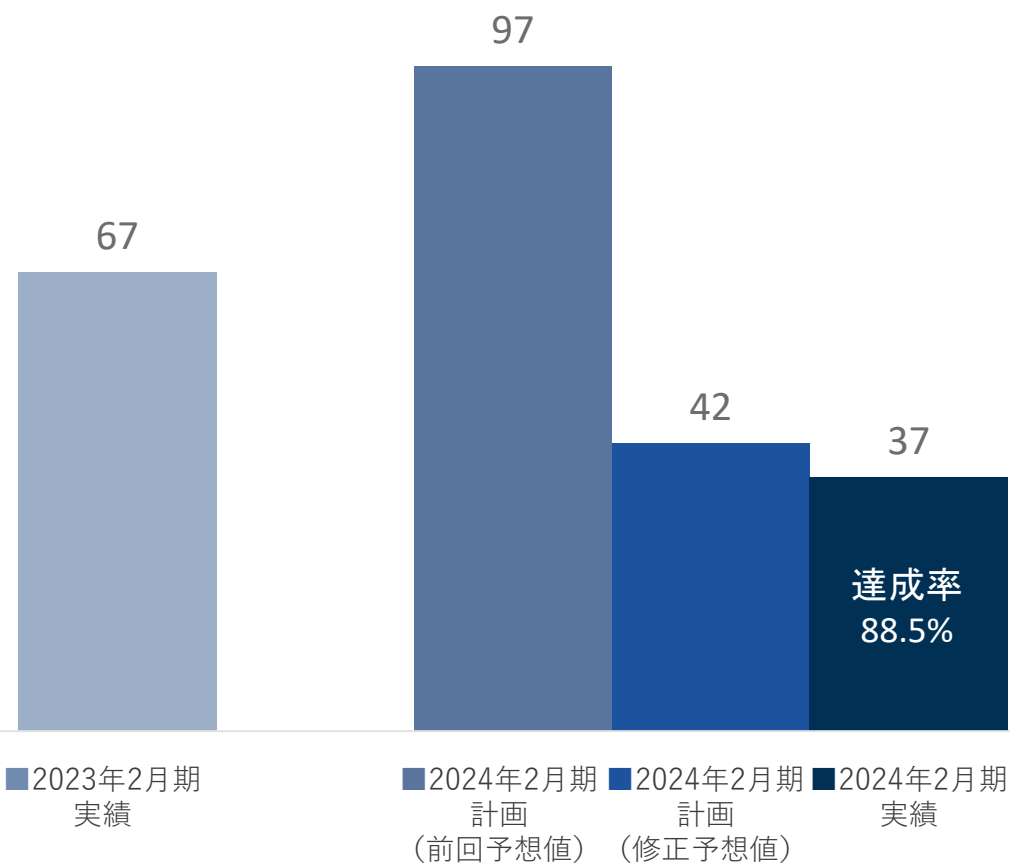
セグメント損益

単位：百万円



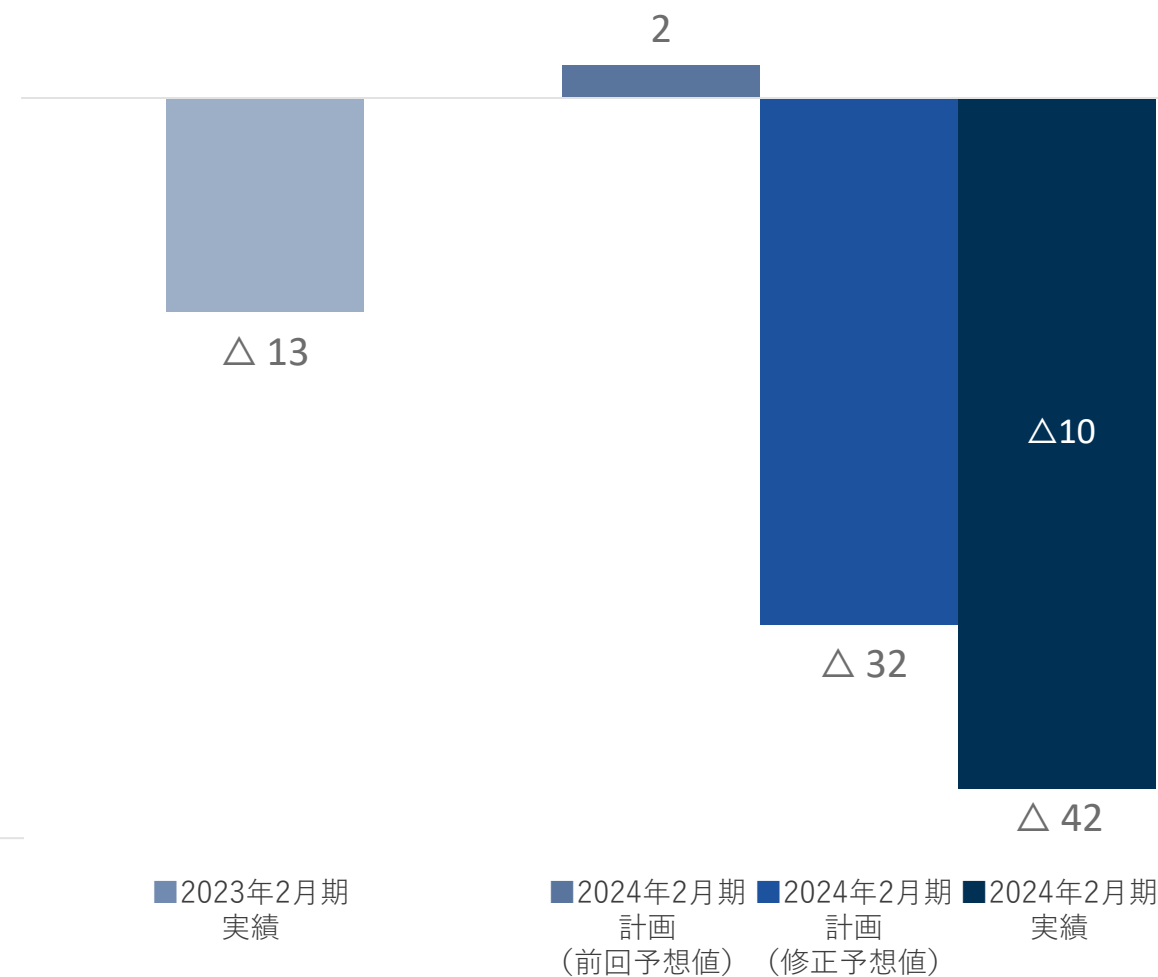
2024年2月期セグメント別業績：AI事業

売上高



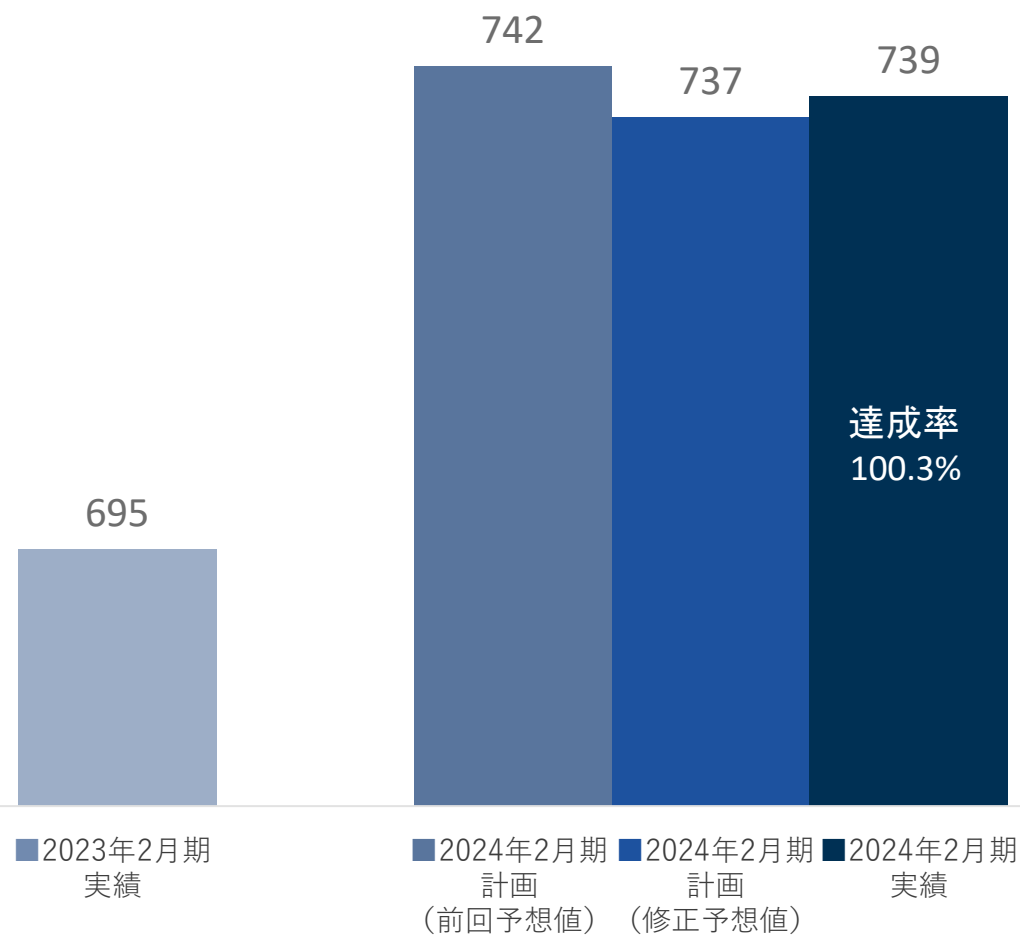
セグメント損益

単位：百万円



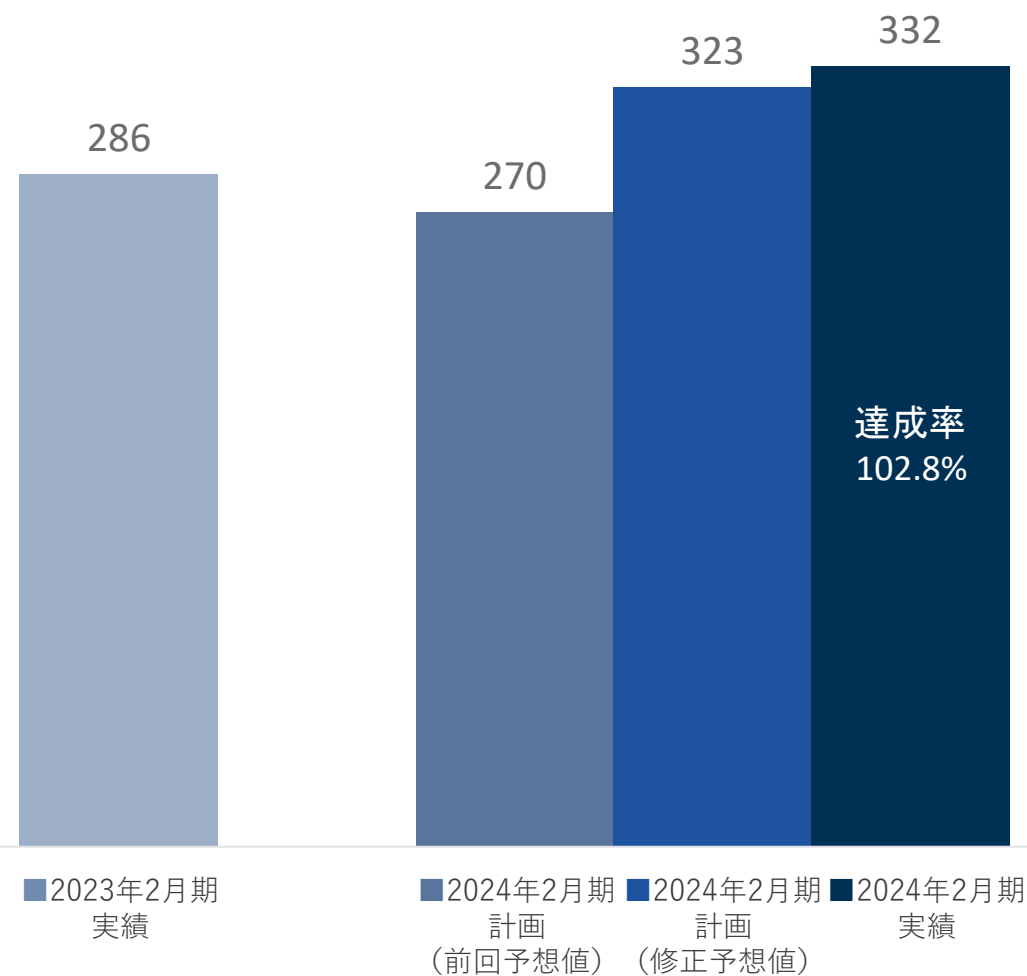
2024年2月期セグメント別業績：Object Browser事業

売上高



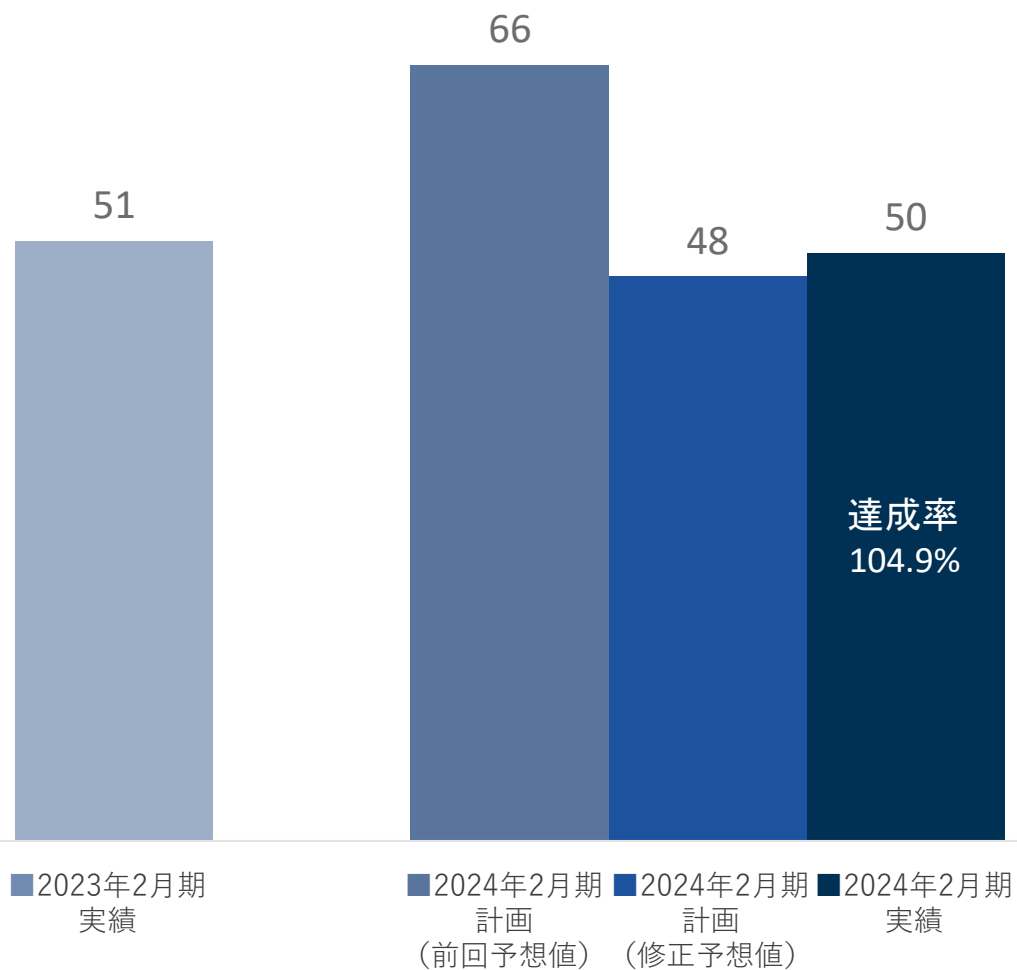
セグメント損益

単位：百万円



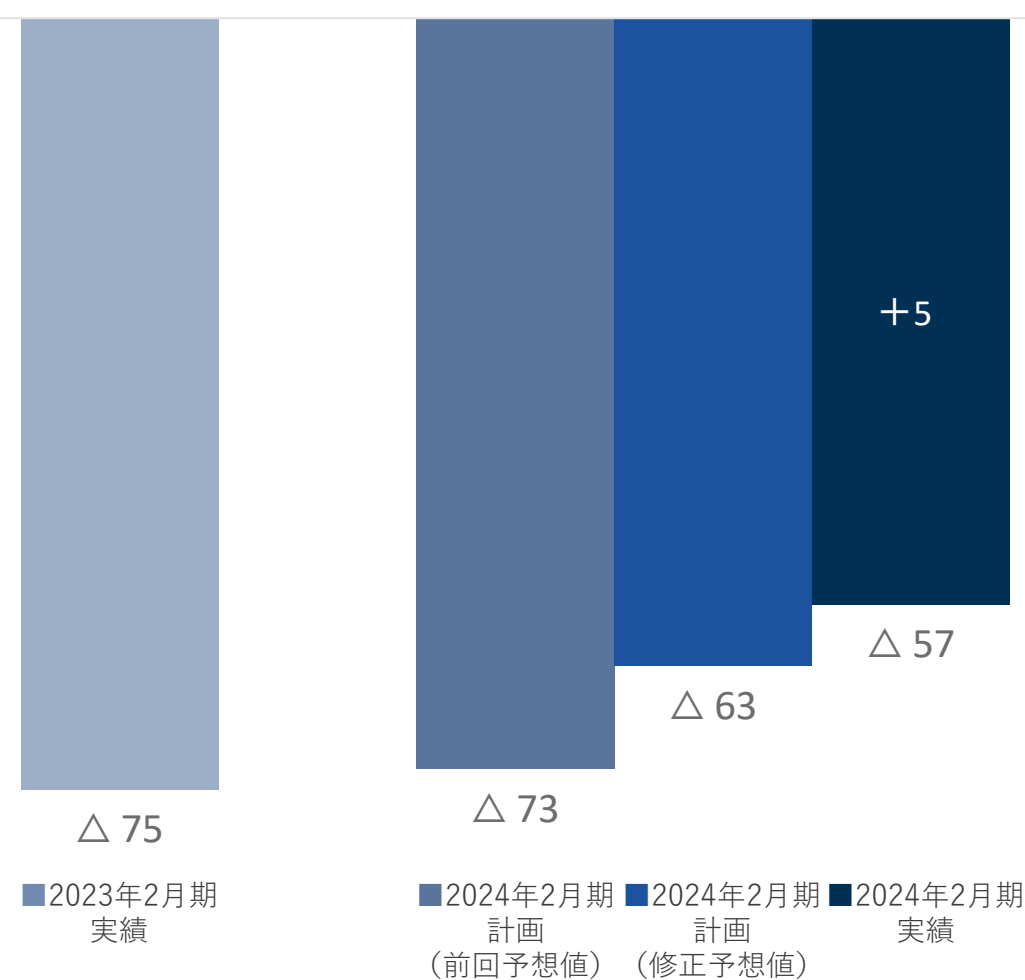
2024年2月期セグメント別業績：インキュベーションその他事業

売上高



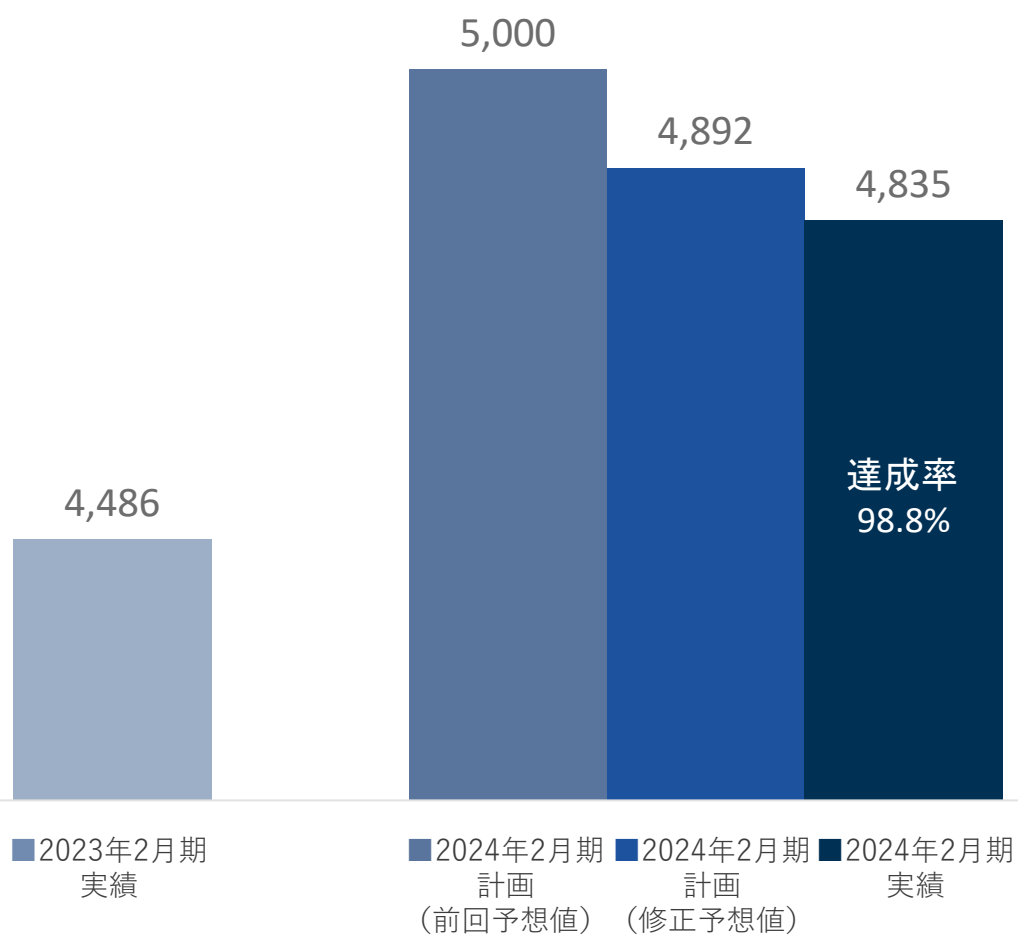
セグメント損益

単位：百万円



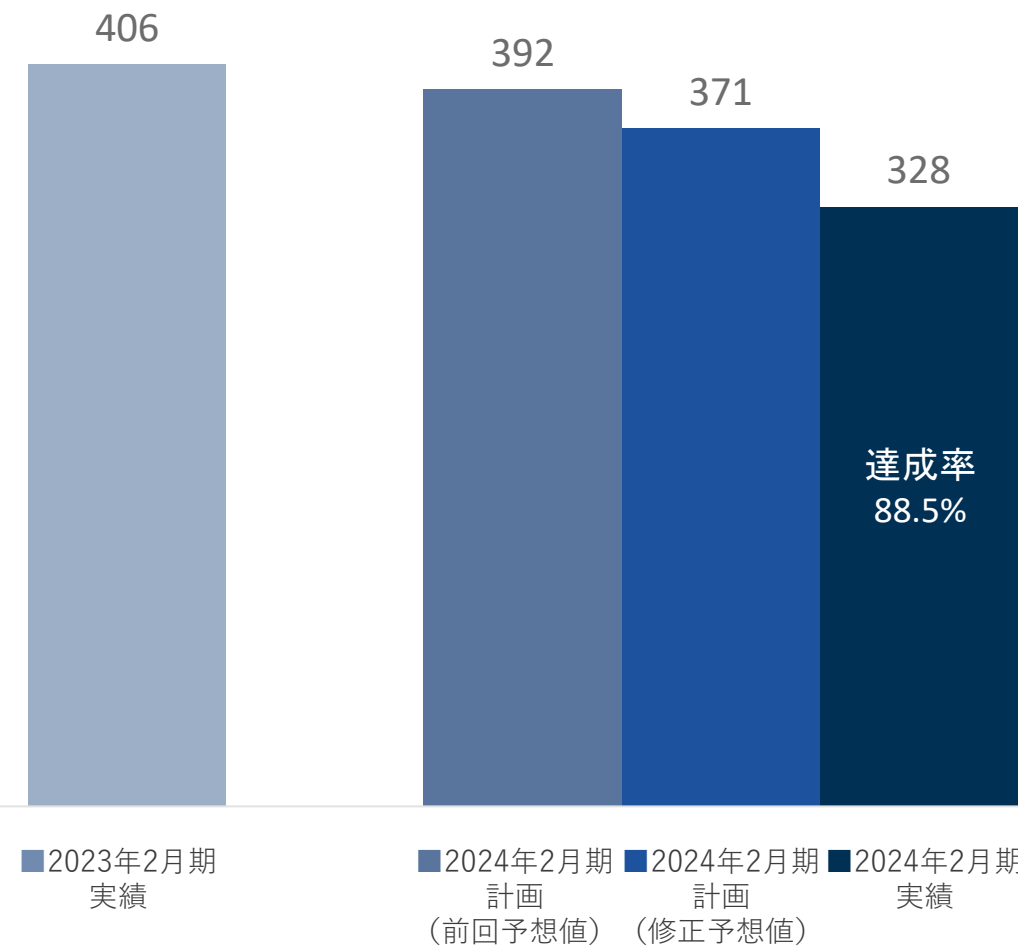
2024年2月期全社業績

売上高



営業利益

単位：百万円





時間を奪うのではなく、時間を与えるソフトウェアを創り続ける

System Integrator

※本資料掲載の情報・画像など、すべてのコンテンツの無断複写・転載を禁じます。

将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略につきましては、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々な不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変更等によりこれら見通しと大きく異なる可能性があります。